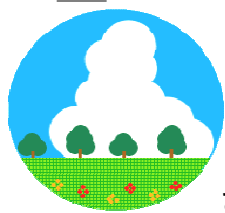


安全就業だより

(社)小郡大刀洗広域シルバー人材センター
安全就業委員会発行会員ニュース第5号
(平成22年8月)



まだまだ暑い!

熱中症を予防しよう!

連日の報道で必ず目や耳にする「熱中症」。今年は梅雨明け以降、猛烈な暑さとなっております。総務省の発表によると、5/31~8/8の2ヶ月半のうちに全国で118人の方が亡くなっています。救急搬送は3万人に迫る勢いです。

熱中症は予防できる!正しい知識を持ち、体調管理をすることでリスクは大きく軽減できます。水分、塩分補給を頻繁にしましょう。まず、作業開始前にコップ1杯の水を。

炎天下の作業が避けられない場合は、少しでも涼しくなる工夫をすることが大事です。最近では、首に巻いたり、背中当たる保冷剤が販売されています。保冷剤の効果はせいぜい2時間程度ですが、クーラーボックスに交換用の保冷剤や濡れタオル、沢山の氷や飲み物を準備している会員さんもいらっしゃいます。毎日こんなに用意するのは大変だと思いますが、その手間で安全が確保できるのです。

休憩はこまめに取り、できるだけ涼しい場所で休みましょう。このときばかりはどうぞヘルメットを脱いでください。(先日、パトロールで休憩中にお邪魔したところ、あわててヘルメットをかぶった方がいらっしゃいました(〇〇)休憩中までかぶれとは絶対に言いませんのでご安心を。)

体調管理は特に重要です。寝不足、深酒、朝食を食べていないなどの不摂生は、てきめんに影響します。朝から調子が悪いと感じたら、無理をせずに就業を休んでください。

就業中に異常を感じたら、すみやかに右の要領で処置します。初期症状(立ちくらみ、こむらがり、汗が異常に出る)であっても、1時間以上たつて回復しないようなら病院に行くことをお勧めします。熱中症は重症化するのが早く、高齢者は自力で回復しにくいようです。吐き気やひどい頭痛、意識が朦朧(もうろう)としていたら、即病院の段階です。→これ実感です!

グループ就業では、お互いの体調に配慮しよう!

連続無事故日数(8/16現在)

傷害事故 261日

賠償責任事故 59日

交通事故(車両) 13日

体の異常発生



涼しい場所へ移動

室内や木陰
風通しの良いところ

衣類をゆるめる

熱を放出させるため
脱げるものは脱ぐ

体を冷やす

水をかけて扇ぐ
濡れタオルや保冷剤、
氷で冷やす(下図)

太い血管の
ある脇の下、
首、足のつ
け根など



事故速報

6月15日以降、2件の交通事故と熱中症が発生しています。

(熱中症)

発生日時 8月4日(水)11時頃

場所 小都市下岩田

会員 小郡本所 剪定 68才 男性

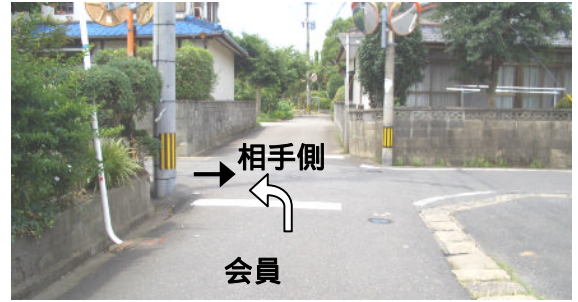
状況 剪定作業に7名で就業。当該会員は気分が悪くなってきたため自動車のエアコンをかけ保冷剤などで身体を冷やして休んでいた。昼食を終え、1時間くらい午後の作業をしたが、また気分が悪くなり作業を中止。センターから自宅に向かう途中で継続的に足がつって痛みに耐えられず救急車を要請した。そのまま入院2日間、病院で点滴を受けた後もこむらがりとは長時間続いたとのこと。当日は高温と高湿度で非常に過酷な気象だった。現場は日陰もなく、屋敷周りの狭い場所での樹木切下げ作業が多かったため、脚立の移動などでかなり体力を消耗した。他の会員も相当バテている様子だった。

この夏は、熱中症で受診した会員さんが他にもいらっしゃるとは思いますが、一例を紹介します。剪定班では、毎朝のミーティングで熱中症についての注意喚起をし、水分補給等かなり気をつけているのですが…。

《 交通事故 》 就業中車両事故

発生日時 7月30日(金)15時40分頃
場 所 小郡市小郡交差点
会 員 小郡本所 配食サービス 69才 男性
事故内容 弁当配達途中、次のお宅に向かうため住宅街の交差点を一時停止後、左折しようとしたときに左方向からきた車と出合頭に衝突した。

おケガはなかったものの、双方の車の賠償責任事故となりました。住宅街の狭い道路では見通しの悪い場所が多くあります。常に十分に注意をして通行してください。



私有車を使用時の事故に関しては、会員本人のケガ以外はシルバー保険の対象となりません。また、外傷をとまなわないため熱中症も対象となりませんのでご注意ください。

《 交通事故 》 就業中物損事故

発生日時 8月2日(月)
14時50分頃
場 所 大刀洗町下高橋
会 員 大刀洗支所 刈払
64才 男性

事故内容 空家敷地の刈払後残材処理に4名の会員で就業しセンターに戻ろうと自家用軽トラックをゆっくりバックさせていたとき、敷地入り口付近の古いブロック塀に当たりそのまま荷台で押し崩した。左右に障害物があり気をとられて後方の確認がおろそかになった。



無事故チャレンジ運動2010

での4ヶ月間無事故は残念ながら達成できませんでした。残りの期間、緊張感をもって無事故で就業しましょう。特に傷害事故については、ゼロの継続を目指します。(連続記録29日でした。)

交通安全ファミリー作文コンクール

作品募集!

- テーマ 「我が家の交通安全」
- 応募締切 平成22年9月10日(金) 募集要項は事務局まで
- 応募区分 一般・高齢者の部 (小・中学生の部もあります)



夏休みにお孫さんと一緒に交通安全について考えてみてはいかがでしょうか?)



安全パトロールより

“現場を知らずして安全は語れない”と安全就業委員会では考え、なるべく多くの現場の作業環境や会員皆さんの作業の様子を見せていただくようにしておりますが、今年度はパトロール設定日に雨になることが多く、4月から4回のパトロールが中止になりました。年度当初のパトロール結果は概ね良好で、不安全な状態での作業は見受けられませんでした。皆さんの安全意識が高まり、センターの決まりごとへの理解がだいぶ深まったものと嬉しく思ったのですが・・・。梅雨明け後の7月27日のパトロールでは、除草現場でヘルメットの未着用が2件ありました。「暑さでかぶったら熱中症になる。」「除草現場は危なくない。」「空から何か降ってくるのか。事務所の人は実際に作業をしないからわかっていない。」というような抗議がありました。これまでずっと真面目にかぶっていたのに暑さにたまらず脱いだ途端、パトロールが来てお小言を言ったとあればカッとなって反発してしまう気持ちもわからないではありません。ですが、なぜ保護具が必要かは会議等で何度も説明をしています。当センターは重大な事故を経験し非常に厳しい立場にあることも、何より会員さん自身のための安全就業であることも。それでも納得いかないのであればセンターの就業はできないのです。委員会は懸命に作業をしている会員さんに「安全義務違反罰則」は、できれば適用したくありません。委員も現場で注意などしないで済むならしたくはないのです。パトロールでは普段は実際に作業をしている同じ立場の会員さんが、皆さんの気持ちは十分にわかった上で委員として安全体制を確立するために頑張っています。そうした委員(班長も同じですよ。)の苦しい胸のうちも少しわかっていただけたらと思います。